

SPACE TOWER スペース・タワー

トールユニットのための究極のソ
リューション

設計インフォメーション

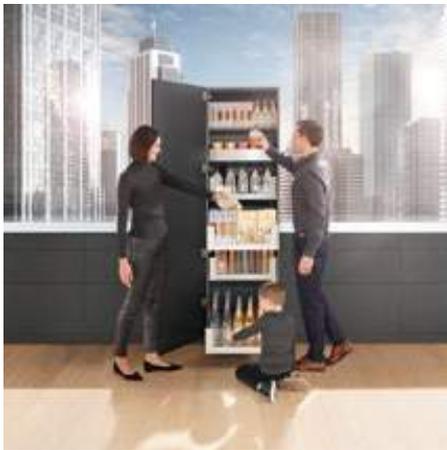


キッチンにもっとスペースを

SPACE TOWER (スペース・タワー) は、驚くほど収納物にアクセスしやすく、食料品のための十分な収納スペースを提供し、お客様の個々のニーズに対応して設計することができます。つまり、この考え抜かれたツールユニットは、お客様の毎日のキッチン・ワークを理想的にサポートするのです。

製品の特徴

- 内引出を備えたカスタマイズ自由度の高いツールユニット
- 上部は棚板、下部は内引出で構成します
- 収納物に、前・右・左の3方向から自由にアクセスができます
- 引出が個別に引き出せるので、ストック品の見通しが良く収納物の見通しが良く、楽に上方に取り出すことができます
- 満載状態の重い引出も、驚くほど軽い操作力で開閉できます
- 背板および側板が高いので、収納物を確実に収納できます
- 実用的な引出内部デバイダー・システムを使えば、整理整頓が簡単で一目で収納物が見渡せます
- フレキシブルなキャビネットサイズに対応できます
- BLUMOTION (ブルモーション)により、静かにやさしく引出や扉が閉まり、高いレベルの「動きの品質」を実感できます
- SERVO-DRIVE (サーボ・ドライブ) の取り付けが可能で、引出の電動オープンサポート機能を追加できます
- TIP-ON (チップオン) 仕様を選択すれば、取手のないデザインへの対応も可能です



フレキシブルなアクセス

すべての引出が個別に開くので、上から収納物全体を見渡すことができます。収納物は、上から簡単に取り出しが可能です。左からでも右からでも、あるいは前からでも収納物にアクセスできます。

フレキシブルな収納

引出は最大荷重70kg (引出の自重を含む・レールの仕様による) まで積載できます。フレキシブルな引出内部デバイダー・システムを使えば、収納物を見やすく整理整頓できます。

フレキシブルなデザインに

SPACE TOWER は、高さ、幅、奥行きをフレキシブルに設計できます。個々のお客様が必要とされる収納スペースにぴったりと調整してプランニングできます。

金具の選定と下穴加工位置の計算は、オンラインの製品コンフィギュレーターを使えば簡単です。

www.blum.com/configurator

取付寸法

キャビネット内部の推奨取付位置	推奨穴あけ寸法 - 前板	推奨穴あけ寸法 - 前板	設計上のアドバイス
			<p>高さのあるキャビネットの場合、最上段は棚板にするのが実用的です。</p> <p>内引出により、左右から収納物が取り出せます。内引出の背板を高くして、収納物が後ろに落ちるのを防ぎます。</p> <p>引出を配置する位置を自由に設定できるので、高さのある収納物に合わせてプランニングができます。</p> <p>扉と引出の干渉を防ぐCLIP top155° 内引出用ヒンジを使えば、キャビネット幅を最大限に利用できます。</p> <p>スライドヒンジを引出と引出の間に設定すると、いちばん下の引出レールを底板まで下げた位置で設置できます。こうすることで、最後の数センチまで利用可能なスペースにすることができます。</p>

* キャビネット底板上にレールを付ける場合、+1mm上げてください (最小39mmとする)。



ヒンジの数

扉の高さ (mm)	2	3	4	5
0 - 500	4-6 kg			
500 - 1000		6-12 kg		
1000 - 1500			12-17 kg	
1500 - 2000				17-22 kg
2000 - 2500				

使用するヒンジの数は、扉の重量および高さによって異なります。

扉の開閉安定性をしっかりと保つには、ヒンジとヒンジの間隔を、できるだけ大きく取ってください。

表記の扉の重さと高さによるヒンジの必要数量は、扉幅600mmの場合です。

取付寸法

キャビネット内部の推奨取付位置	推奨穴あけ寸法 - 前板	推奨穴あけ寸法 - 前板	設計上のアドバイス
			<p>高さのあるキャビネットの場合、最上段は棚板にするのが実用的です。</p> <p>内引出により、左右から収納物が取り出せます。内引出の背板を高くして、収納物が後ろに落ちるのを防ぎます。</p> <p>引出を配置する位置を自由に設定できるので、高さのある収納物に合わせてプランニングができます。</p> <p>扉と引出の干渉を防ぐCLIP top155° 内引出用ヒンジを使えば、キャビネット幅を最大限に利用できます。</p> <p>スライドヒンジを引出と引出の間に設定すると、いちばん下の引出レールを底板まで下げた位置で設置できます。こうすることで、最後の数センチまで利用可能なスペースにすることができます。</p>

* キャビネット底板上にレールを付ける場合、+1mm上げてください (最小39mmとする)。



ヒンジの数

扉の高さ (mm)	重量 (kg)	必要なヒンジの数
0 - 750	4-6 kg	2
750 - 1500	6-12 kg	3
1500 - 2100	12-17 kg	4
2100 - 2500	17-22 kg	5

使用するヒンジの数は、扉の重量および高さによって異なります。

扉の開閉安定性をしっかりと保つには、ヒンジとヒンジの間隔を、できるだけ大きく取ってください。

表記の扉の重さと高さによるヒンジの必要数量は、扉幅600mmの場合です。

取付寸法

キャビネット内部の推奨取付位置	推奨穴あけ寸法 - 前板	推奨穴あけ寸法 - 前板	設計上のアドバイス
			<p>高さのあるキャビネットの場合、最上段は棚板にするのが実用的です。</p> <p>内引出により、左右から収納物が取り出せます。内引出の背板を高くして、収納物が後ろに落ちるのを防ぎます。</p> <p>引出を配置する位置を自由に設定できるので、高さのある収納物に合わせてプランニングができます。</p> <p>扉と引出の干渉を防ぐCLIP top155° 内引出用ヒンジを使えば、キャビネット幅を最大限に利用できます。</p> <p>スライドヒンジを引出と引出の間に設定すると、いちばん下の引出レールを底板まで下げた位置で設置できます。こうすることで、最後の数センチまで利用可能なスペースにすることができます。</p>



ヒンジの数

扉の高さ (mm)	重量 (kg)	必要なヒンジの数
0 - 500	4-6 kg	2
500 - 1000	6-12 kg	3
1000 - 1500	12-17 kg	4
1500 - 2500	17-22 kg	5

使用するヒンジの数は、扉の重量および高さによって異なります。

扉の開閉安定性をしっかりと保つには、ヒンジとヒンジの間隔を、できるだけ大きく取ってください。

表記の扉の重さと高さによるヒンジの必要数量は、扉幅600mmの場合です。

Julius Blum GmbH
Beschlagefabrik
6973 Hochst, Austria
Tel.: +43 5578 705-0
Fax: +43 5578 705-44
E-Mail: info@blum.com
www.blum.com

弊社はオーストラリア、ポーランド及び中国にある事務所は以下の通りに認定されています。
弊社のアメリカ事務所はISO 9001の認定を取得しています。
弊社のブラジル事務所はISO 9001及びISO 14001の認定を取得しています。



Look for our
FSC™-certified
products

すべての内容に関する著作権は、ブルム社の所有に属するものとします。
製品の仕様は予告なく変更することがあります。
TD-082/2 JA-AL/02.22